

「金沢市青少年健全育成推進アクションプラン骨子案」パブリックコメントでのご意見の概要と金沢市の考え方

募集期間：令和4年12月20日(火)～令和5年1月18日(水)  
意見：意見者数 4名 意見数 12件

1 金沢市青少年健全育成推進アクションプランの概要

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	(3)計画の位置づけについて、「かなざわ子育て夢プラン2020」と「金沢市生涯学習進行基本計画」のどこに関連する計画であるのか明記が必要ではないか。	「かなざわ子育て夢プラン2020」の基本方針4「未来への希望をつくるまちへ」のうち「未来の親となる青少年の育成、思春期の子どもの健やかな成長への支援」等が、「金沢市生涯学習基本計画」の基本的方向性2「青少年育成のための家庭・地域・教育力の向上」のうち「学校、家庭、地域の連携促進による協力体制の推進、青少年の主権者教育の推進」等が本プランと関連いたします。 今回いただいたご意見を踏まえ、明記いたします。

2 青少年の現状と健全な育成に向けた課題

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
2	本市の現状についての箇条書きの部分について、課題が抽象的すぎて、何が真因であると考えているのか、子ども未来局としての仮説が見えない。 ・「生きる力を育む」とは具体的にどんな課題をどう解こうとしているのか？ ・「様々な要因で困難を有する」とは？困難は様々な要因からなるのは普遍的な解釈だが、最も注視すべきは何か？増加傾向にある構造的な課題はどれか？ ・「青少年や近所に無関心な大人が多くなった」というのは、それだけではただの事象。青少年の健全育成にとっての課題となって表出しているのはどんなシーンか？	今回いただいたご意見を踏まえ有識者等で構成する「金沢市青少年健全育成推進アクションプラン検討委員会」での議論を経たうえで、課題やそれに対応する施策について明記いたします。
3	社会情勢の変化について、3点ともすべて世の中の情勢や変化であって、これだけ並べ立てても「それで何が言いたいのか」となる。書くのであれば青少年健全育成への追い風・逆風としてどう作用しているのか、子ども未来局としての見解や仮説を書くべきだし、そうでなければ不要と考える。	
4	課題について、3つとも既定路線の施策ありきで書かれており、本当に課題となっているものが何かそもそも明確化していない。また、課題の真因を探るプロセスも抜けているので、結果として文の後半で出ている対応策は課題の裏返しに終始しており、行動方針と呼べるものになっていないと思う。	

### 3 金沢市青少年健全育成推進アクションプランの体系

#### ・体系全体について

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
5	体系案について、課題からスタートしていないので、いきなり（１）～（３）の基本方針が出てきても、それが妥当であるか・効果的であるかの判断がつかない。	今回いただいたご意見を踏まえ有識者等で構成する「金沢市青少年健全育成推進アクションプラン検討委員会」での議論を経たうえで、課題やそれに対応する施策について明記いたします。

#### ・基本方針（２）困難を有する青少年やその家族への支援について

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
6	子どもたちのパソコン環境はそれぞれの家庭環境により異なる。パソコンやネット環境を整え、それを子どもたちが自由に使えるような施設があるといい。	長土堀青少年交流センターや市内の各児童館・図書館、教育プラザ富樫などに子どもたちがインターネットを利用できるパソコンやタブレットを配置しています。また、ご意見については、更に充実することも含め、「基本方針（２）困難を有する青少年やその家族の支援－施策の方向性：困難な状況に応じた支援」の中で取り組んでまいります。
7	子どもへの専門的な相談支援や連絡調整ができるように、スクールカウンセラーなどの資格を持った常勤相談員を増やして、サポート体制を強化してほしい。	本市では、スクールカウンセラーについて、勤務形態、時間等を石川県教育委員会と調整のうえ、配置を行っています。今後も、児童生徒等へのカウンセリングの充実が図られるよう努めてまいります。
8	子どもがスクールソーシャルワーカーに直接相談にいける機会を確保するため全校配置してほしい。相談員には専門職としての、十分な待遇、労働条件を用意してほしい。	本市では、３名のスクールソーシャルワーカーを配置しており、希望があった家庭に対して訪問を行うなど、児童生徒及びその保護者への支援を業務としています。待遇や労働条件に係るご意見については、今後の検討課題とさせていただきます。

#### ・基本方針（３）青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備について

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
9	金沢市の野外体験施設（甥杉少年の森・土子原こども野外広場）の充実を希望する。気軽に多くの自然体験ができたらいと思う。	現在、青少年団体を中心に利用していますが、少人数の団体にも対応できないか検討してまいります。また、今回いただいたご意見は、「基本方針（３）青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備－施策の方向性：家庭、地域、学校における環境の整備」の中に含まれるものと考えます。
10	野外自然体験をすることで、五感を通して多くのことを学ぶことができる。少ない人数や家族単位であっても市内の野外体験施設を利用できるようにしてほしい。	
11	学校や家庭の他に、次のような「居場所」があるといい。 ・休日等に同好の仲間等が集い、楽しいことを企画・相談・準備したりできる場所。ワイワイ話し合えるような場所。 ・一人でも、安心して気軽に出かけられる場所。	本市では長土堀青少年交流センターや市内の各児童館、教育プラザ富樫などに、青少年が主体的に学び交流できるスペースを配置しています。また、今回いただいたご意見は、「基本方針（３）青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備－施策の方向性：家庭、地域、学校における環境の整備」の中に含まれるものと考えます。

●その他

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
12	<p>下記の理由により、ビジョンと実務経験を持った、次世代型の青少年アドバイザーを外部から入れるべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 具体的な施策案の欠如：骨子案には何も具体的な施策が書かれておらず、パブリックコメントの体をなしていない。下記に論点は続くものの、本当に基本的なことであるので、できれば行動計画案と言える粒度まで書き下したものを作って再度パブリックコメントを募集してほしい。そのためにも、問題構造の分析と過去事例に長けた専門家の起用は効率的と考える。</li><li>・ 統合的なビジョンの欠如：「策定の背景と目的」、「計画の位置づけ」、「課題」に書かれている内容はこれまでに個々の課が行った施策や計画を単に寄せ集めて概要を書き並べているように見え、統合したからこそ見えてくるインサイトやそれに基づくビジョンが見えてこない。このままでは教育委員会等から移管・集約して子ども未来局を設置した意味が出ないものと危惧される。一方で、定期的な配属転換を前提とした場合、この統合作業をするだけの過去の関連経験が当該スタッフにない、あるいは腰を据えてビジョンや行動計画を作りこむだけの在任期間が確保できないなどの制約はあり得るものと理解する。であれば、専門家を当初より巻き込んだ作り込みが必須であると考え。</li></ul>	<p>再度パブリックコメントを実施する予定はありませんが、今回いただいたご意見を踏まえ、有識者等で構成する「金沢市青少年健全育成推進アクションプラン検討委員会」での議論を経たうえでプランを作成いたします。</p>